

食品安全関係情報(3月21日 ~4月4日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要 (集計数は、今回/前回)

3月21日 ~4月4日 (前回3月8日 ~3月20日)		国際機関		北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (4/8件)	米国 (6/4件)	カナダ (7/1件)	EU、EFSA (36/15件)	各国 (14/26件)	FSANZ等 (3/4件)	中国 (11/7件)	各国 (8/3件)	各国 (1/0件)	報道、論文等も含む (19/19件)	
化学物質 (34/19件)	化学物質・汚染物質 (9件)	0	0	1	0	2	0	0	0	1	5	
	食品添加物 (6)	0	0	3	1	1	0	1	0	0		
	農薬 (9)	0	4	0	1	0	0	1	2	0	1	
	動物用医薬品 (3)	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	
	器具・容器包装 (5)	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2	
	その他 (2)	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
	計 (34件)	0	5	4	2	6	0	3	5	1	8	
微生物・プリオン・自然毒 (25/41件)	細菌 (9件)	0	0	0	5	1	0	1	2	0	0	
	ウイルス (3)	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	プリオン (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	植物性自然毒 (1)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	カビ毒(マイコトキシン) (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	動物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (11)	2	0	0	6	2	0	0	0	0	1	
計 (25件)	4	0	0	11	3	1	2	2	0	2		
新食品等 (11/11件)	新食品 (3件)	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	
	GMO (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	健康食品 (4)	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	放射線照射 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (1)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
計 (11件)	0	0	1	2	2	0	3	0	0	3		
肥料・飼料等 (16/1件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	飼料 (16)	0	0	0	15	1	0	0	0	0	0	
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計 (16件)	0	0	0	15	1	0	0	0	0	0	
その他 (23/14件)	表示 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	放射性物質 (3)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	その他 (15)	0	1	2	5	2	2	2	1	0	0	
	論文情報 (5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	計 (23件)	0	1	2	6	2	2	3	1	0	6	
海外の食中毒 (0/1件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(3月21日~4月4日収集分109件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・カナダ食品検査庁(CFIA)、特定の食品中のアクリルアミド量を公表
- ・フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、食品経路アルミニウム暴露の研究調査を紹介
- ・論文紹介:「前向きコホート研究(The Strong Heart Study)におけるカドミウム暴露及びがん死亡率」
- ・欧州化学品庁(ECHA)のリスク評価専門委員会(RAC)、ビスフェノールA(BPA)の毒性分類を強化するよう提案したことを公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・欧州食品安全機関(EFSA)及び欧州疾病予防管理センター(ECDC)、2012年のヒト、動物及び食品から分離された人獣共通感染症細菌及び指標菌における薬剤耐性に関する欧州連合総括報告書を公表
- ・欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・鶏と体及び鶏肉中の病原体低減を目的とする過酢酸溶液の安全性と効果の評価に関する科学的意見書を公表
 - ・欧州食品安全機関(EFSA)、非動物由来食品における病原体暴露リスクに関する科学的意見書 第2部「サラダとして摂取される野菜類におけるサルモネラ属菌及びノロウイルス」を公表

【新食品等】

- ・ベルギー連邦フードチェーン安全庁(AFSCA)、飼料用の中国産ビタミン剤から未認可の遺伝子組換え米が検出されたことに関する通知を発表
- ・カナダ農務農産食品省(AAFC)、カナダで初のフザリウム抵抗性小麦が間もなく導入される旨を公表
- ・米国食品医薬品庁(FDA)、『業界向けガイダンス(案):輸入食品事前通知に関するQ&A(第3版)』を発表
- ・欧州連合(EU)、東京電力福島第一原子力発電所の事故の後に日本で生産された又は日本から出荷された飼料及び食品について輸入規制を緩和する新しい委員会施行規則(EU) No 322/2014を官報で公表
- ・「原子放射線の影響に関する国連科学委員会」(UNSCEAR)、東京電力福島第一原子力発電所事故に関する「UNSCEAR2013報告書 - 電離放射線の線源、影響及びリスク」 - 第1巻及び第2巻を公表